

(平成29年度分)

団体名	社会福祉法人月の輪学院		
			
			

社会福祉法人月の輪学院は「障害児入所施設」、「障害者グループホーム」(5施設)、認知症高齢者グループホームを運営しています。利用者は社会的弱者と言われる人たちで、私たち支援者には第一に命を守り、自分らしく生きることを支援することが求められています。そのため命を護る一環としてAEDを取り入れました。緊急な場合、救急車が来るまでの間の支援が生存率を高められると知ったからです。しかし、AEDを使いこなすことだけを目的にしているのではなく、このことを通して、命を護るとはどのようなことなのかを職員全員に考える機会にして欲しかったからです。

そして、法人の職員全員に1年に1回は訓練に参加して欲しいと考えていますが、24時間体制の交代勤務のため、今年度は参加できない職員もいました。また、参加しても意味が無いと思っている職員もいたようです。しかし、継続してAEDの訓練を繰り返していく中で職員の中で命について考える機会にしていきたいと思っています。

施設では昨年9月からセコムと契約して施設内にもリースでAEDを設置しました。施設内で使用するだけでなく、近隣の方で必要があれば貸し出したり、職員がAEDを持って必要としている方のところへ行って支援することも考えています。

JR西日本さんがこのように命について考える機会を作っていただいたことはありがたいと思っています。